

## 令和7年度第3回全国健康保険協会徳島支部評議会議事録

○日時：令和8年1月20日（火）14時00分～16時00分

○場所：全国健康保険協会 徳島支部 5階会議室

○出席評議員（五十音順 敬称略）

井内学	一般社団法人徳島新聞社論説委員
上田輝明	徳島県商工会議所連合会 専務理事
牛田聡史	日亜化学工業株式会社総務人事本部給与厚生センター センター長
中内美香	徳島県国民健康保険団体連合会保険者支援課 課長
平井松午	徳島大学 名誉教授
布川徹	徳島県中小企業団体中央会 会長
古谷京一	徳島文理大学 総合政策学部教授

○議事次第

- 1 令和8年度 保険料率について
- 2 令和8年度 徳島支部 事業計画・保険者機能強化予算（案）について

○議事内容要旨

1. 令和8年度 保険料率について  
事務局より資料1-1～資料1-7に基づき説明し、ご意見をいただいた。
2. 令和8年度 徳島支部 事業計画・保険者機能強化予算（案）について  
事務局より資料2-1～資料2-3に基づき説明し、ご意見をいただいた。

（主な議論の概要）

1. 令和8年度 保険料率について

【主な意見】

《学識経験者》

- ・何かしらのメルクマールを決めておく必要がある。なんとなくで引き上げたり、引き下げたりするのはよくない。説明責任が果たせる基準を設けておくべき。
- ・料率を下げる判断を軽くされたような感じがする。
- ・徳島支部は全国的にまだ高い水準にあるので、支部としてもまだ努力していく必要がある。

《事業主代表》

- ・検討を重ねて10%でいこうとなつたはずなのに、結果0.1%下げると決めたのは、検討を重ねたのはなんだったのか。シュミレーションできているとは思いますが、将来的に厳しくなることはわかっているので、それに対する対策が必要だ。
- ・少しでも下がるのはありがたい。支部として、様々な取り組みをしていただいた結果だと思

う。我々も下げる努力が必要と考えている。

- ・保険料や医療費の軽減によって、財政の厳しさが伝わらない部分がある。少しでも負担をもとめるべきではないか。

#### 《被保険者代表》

- ・より一層医療費適正化と健康づくりの事業に取り組んで、徳島支部の医療費を下げる取り組みに力を入れていかなければいけないと思っている。
- ・「将来的に長く続く制度を」という思いがあるのにも関わらず、国庫特例減額については、もどかしさを感じた。

#### 《事務局》

- ・メルクマールについては、そのような意見があったということをあげていきたい。

### 2. 令和8年度 徳島支部 事業計画・保険者機能強化予算（案）について

#### 【主な意見】

#### 《被保険者代表》

- ・電子申請については記入項目が多く、従業員個人でどこまでできるのか不安だ。動画を見るだけではうまくできないのではないかと考える。他に電子申請を広めるための施策はあるのか。例でいうと税務署には事業所で説明会を開いてもらっている。
- ・電子申請が始まることで会社としては楽になるのかと思ったが、結局、証明等はしないといけないので、あまり変わらないのではないか。
- ・まずは担当の人だけにでも説明してほしい。やり方が簡単なら説明しやすい。

#### 《事務局》

- ・動画については、紙申請にかかる記入ポイントの広報となる。電子申請については、保険者機能強化予算案で上げている利用促進奨励ポスターを制作し、健保委員委嘱事業所を中心に配付し広報を行う予定である。事業主のみなさまにご協力いただき、広報を進めていくことが普及への入り口となるので、ぜひ、従業員のみなさまの目にかかる場所にポスターを掲示いただき、ご協力をお願いしたい。ご要望があれば、事業所へ出向いて電子申請の説明会を行いますので、お申し付けください。
- ・給付金申請に伴う事業主証明などは、従来どおり、証明していただくこととなる。その証明書を写真に撮ってアップロードし、電子申請を行うこととなる。

#### 《被保険者代表》

- ・事業所はその証明をしなければならぬ、という手間がある。
- ・医療費のお知らせも来年から紙で郵送してくれなくなるのか。

《事務局》

- ・なくなるが、申請書を提出いただければお送りすることも可能。

《事業主代表》

- ・電子化については大賛成。
- ・はじめは大変だと思うが、電子化については進めてほしいと思う。うちの事業所も年末調整を個人で登録するよう変えた。とっかかりは大変だったが、いざやってみると案ずるより産むがやすしだった。スピード感を重視しすぎるとプレッシャーがかかるといけないのでいいバランス感をもって取り組んでほしい。

《学識経験者》

- ・電子申請や DX は有効だと思うが、ユーザーとサブプライヤーの立場がある。電子申請によって、処理する側は早くなるが、ユーザー側の負担も考える必要がある。よりユーザーフレンドリーな仕組みにしていきたい。保険事務にかかわっている人たちにまず浸透させていくことが大事だ。そしてサポート体制が必要だ。

《事業主代表》

- ・保険料が下がるような取り組みを期待したいと思います。

《学識経験者》

- ・ジェネリックの取り組みをしていただいて、保険料を下げてくださいと思います。

《事業主代表》

- ・インセンティブの結果が出るような取り組みに尽力していきたい。
- ・インセンティブ制度の取り組みについて、特定健診等の実施率 47 位ということで、この順位を上げることができる事業を行っていただきたい。

《事務局》

- ・ジェネリックについては医療機関の訪問等を行ってきたが、特定健診の受診率については努力によって変わる可能性が十分にあるため、来年度は様々なことにチャレンジして成果が見えるものがあれば来年に繋げていきたい。

《学識経験者》

- ・協会けんぽの保険料率は今回大きく取り上げられた。全体の平均保険料率は 9.9%となったが、徳島は 10.24%ということで、10%を切っていない。あれ、と疑問に思う人もいるかもしれない。単純に医療費が高いから、と理由を説明すると良いと思う。徳島支部の保険料率が高いという状況は変わらないが、医療費がネックになっているということをより強調し、医療費の適正化と結び付けて説明できるように進めていくと良いと思う。

《学識経験者》

- ・他の支部との比較でインセンティブ結果が出ていると思う。以前から言っているが、データの蓄積があると思うので、素晴らしい成果をあげている支部の取り組みを真似するのが良いと思う。

《事業主代表》

- ・1年間健康で通院がなければ、プレゼントを配布するなどのサービスがあっても面白いかもしれない。

《学識経験者》

- ・最近ニュースになっていたが、自治体議員の国保逃れの件、あのニュースは健康保険財政に影響が出る。資格が適正に加入できているのか、適正な保険料を払っているのか協会でもきちんとした調査をするべきではないのか。

《事務局》

- ・資格の加入については年金機構になり、協会けんぽ単独で調査はできかねる。今回そのような話が出たことについては年金機構と連携しておく。

以上

次回評議会開催日程

- 日 程： 令和8年3月
- 場 所： 徳島支部会議室
- 議事内容予定： 未定